

特別史跡藤原宮跡

Special Historic Site Fujiwara Palace Site

藤原京は、持統天皇の8年(西暦694年)から和銅3年(西暦710年)まで、持統・文武・元明天皇3代にわたる都でした。中国の都城制に倣い、初めて本格的な都市計画のもと造営されました。ここでは、「二官八省制」と呼ばれる官庁組織や大宝元年(西暦701年)の大宝律令の制定によって、国を治めてゆく政治の制度、「律令制度」が整備されました。

藤原宮は、この藤原京の中心部にあたり、現在の皇居と国会議事堂、および霞ヶ関の官庁街とを1カ所に集めたようなところ。大きさは約900m四方、まわりを大垣(高い塀)と濠で囲み、各面に3ヶ所ずつ門が開きます。中には天皇が住む内裏、政治や儀式を行う大極



殿と朝堂院、そして役所の建物などが建ち並んでいました。

藤原宮跡は、平城宮跡とともに、歴史的・学術的に貴重な価値を有する重要な遺跡として、昭和27年特別史跡に指定されました。

橿原市藤原京資料室

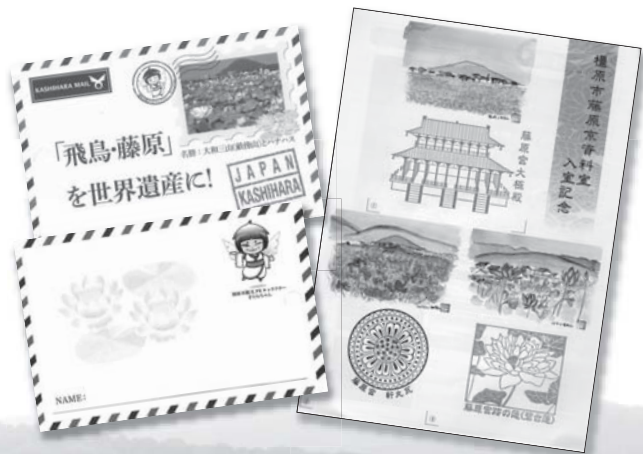
Exhibition Room of Kashihara-City at Fujiwara Capital Site

— 藤原宮大極殿跡に最も近い資料室 —

本資料室は、世界遺産登録をめざす「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」の構成資産のひとつ、「特別史跡藤原宮跡」をより理解していただくことを目的に、平成18年10月に開室しました。

展示物は、藤原京1000分の1模型(約6×7m)、藤原宮跡の出土品、解説パネルなどです。藤原宮跡で咲く花々や、「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」の構成資産も写真で紹介しています。映像コーナーでは、当時の藤原京の様子を再現したCGや、日本遺産「日本国創成のとき 飛鳥を翔た女性たち」による、飛鳥時代に活躍した女帝たちを紹介するドラマ、藤原京の造営をおこなった天武天皇・持統天皇の功績を描いたアニメーションなどがご覧いただけます。入室記念スタンプも設置しており、デザインは藤原宮大極殿・藤原宮軒丸瓦・藤原宮跡の蓮(碧台蓮)と、いずれも藤原宮跡の魅力を伝えるものになっています。また、宮跡に咲く花々をあしらったネームタグもプレゼントしています(季節ごと、全4種類)。本資料室とともに、香具山の麓の「奈良文化財研究所 藤原宮跡資料室」へも足をお運びください。

藤原宮跡の魅力をより深く感じていただけるでしょう。



特別史跡藤原宮跡と美しい花園観賞のひとつとき、「飛鳥・藤原」周遊の旅の思い出づくりに、どうぞ本資料室へお立ち寄りください。

- ・住所: 橿原市縄手町178-1
(JAならけん橿原東部経済センター2階)
- ・開室時間: 午前9時00分～午後5時00分
(最終入室は午後4時30分)
- ・休室日: 月曜日(月曜日が祝祭日の場合は、その翌日)
年末年始(12月27日～1月4日)
- ・入室料: 無料
- ・駐車場: 無料(普通車30台、バス2台駐車可)

交通案内

- 近鉄耳成駅より南西へ、近鉄畷傍御陵前駅より東へ
JR畷傍駅より南東へともに徒歩約30分
- 近鉄大阪線「大和八木駅」よりコミュニティバスで4つ目の停留所
(橿原市藤原京資料室前)で下車(約20分)